

## JEMS 日語部コーディネーター 藤本三奈子

「収穫は多いが働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」（マタイの福音書 9 章 37 節 38 節）

皆様のお祈りと経済的サポートを感謝します。8月1日から20日まで日本に滞在しました。今年の年末にミシガン州のセント・ルイスで世界各地に宣教へ赴く思いを持った大学生が集まる大会、URBANA が開かれます。そこで日本で必要とされている働きを伝え、日本への宣教師を募るために、東北大震災の被災者の支援に携わっている方々を訪問させて頂き、受け入れ体制や希望される支援を伺いました。震災後 1 年半の様子を訪問させて頂いた地について報告させていただきます。

### 宮城県



JEMS 短期ミッションに同行し、宮城県南三陸町の平成の森でゴスペルフラのワークショップを開催。この施設の駐車場に建っている仮設に住んでいる方々が参加して下さい、ゴスペルフラを楽しんで踊っていらっしゃいました。講習会が終わり、帰る時間になると、仮設に帰っても一人で寂しいから帰りたくないとおっしゃる方がいました。ずっと、フラを踊っていて頂きたいと思いました。

津波で被害を受けた宮城県南三陸志津川公民館。まだ取り壊されずに建物が残っていました。草がのび、震災から 2 回目の夏であることを物語っています。この地域に仮設の商店も建ち、復興への兆しも見えましたが、仮設住宅に住んでいる方も多く、孤独や生活不安を抱えながら生活していらっしゃいます。



仙台空港の近くの田んぼの様子です。津波で塩害を受けましたが、EMという有用微生物群を散布することで塩分を抜きました。この散布はMSR+というクリスチャンの団体が手がけ、実りの、そして収穫の秋を待つばかりです。右は農家の方が収穫した作物を販売するための販売所を建てるために使ったブロックですが、JEMSからの献金で購入しました。



利府オアシスチャペルが支援されている志津皮製品の制作場(志津川沼田地区)の様子です。みなさんが一週間に一度集まり、教会のスタッフの方が材料をお渡しし、製品の品質チェックをします。一人のご婦人がお孫さんを小学校に迎えに行き、津波が襲ってきた光景を話してくださいました。その時経験された恐怖や目にした光景は忘れることができないと語っておられました。自家製のきゅうりの漬物をご馳走になり、お土産で頂きました。皆様の温かさを感じました。志津革製品についてウェブ・サイト [oasislifecare.org](http://oasislifecare.org)